

岸田英山著『道するべ』復刊!

本書『道するべ』は、昭和24年5月8日に小冊子として発行されました。

当時、み教えと会員をつなぐ大切な架け橋であった月報（現在の解脱誌）は、戦中戦後の紙不足により昭和20年頃から昭和24年8月に復刊するまで、休刊となっていました。

さらに昭和23年11月4日に金剛さまがご遷化され、会の柱であり全会員の心の拠り所でもあった尊者を失ったことにより、会員の心に言い知れぬ不安が渦巻いていた時期であったと拝察されます。

そこで尊者亡き後の会の運営を担われていた岸田英山先生が、会の未来を憂い、会員の幸せを切に願って発刊されたのがこの本書です。

「ここに解脱への『道するべ』として本書を著し、前途に望みを抱く者、現在に方向を見失った者および信念なき者、あるいは見当違いの過信者に対し、過ちを少なくして、幸せな人生を得ていただきたく念願する次第である。（中略）本書によって幸せになれる人間道の方向を知り、さらに進んで解脱の神髄に達することができるよう希望する。それは諸子自身の幸せと、子孫永遠の繁栄のためにである」（『道するべ』緒言より抜粋）

本書は「信念なき生活は破滅なり」から始まる「宗教と生活」「大自然の運行と因果律」「わざわざと解消」等の19項目に分けられ、解説がなされています。会員として「何のために学ぶのか」「学ぶ上での注意点」といった大切なポイントが記されておる本書は、改めてみ教えを学ぶ本来の目的を発見する一助として、現代においても大変貴重な資料となるものです。

立教100年に向けて、一人ひとりがさらなる飛躍を遂げるための「道するべ」となる本書をぜひ手に取っていただき、さらに圏域または教区や支部で、勉強会の教材としてもご活用いただきたいと思います。

B6判／50頁

定価500円（税込価格）

※第143回解脱金剛御生誕祭より販売

